

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトサンギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	スタートアップ・インターンシップ
	学部・研究科等名	共通教育推進機構
	担当教職員名・役職	■教員:1名松尾 智晶(共通教育推進機構)■職員:キャリア教育研究センター:3名松本 翔伍、穂崎 良典、鈴木 亜也子
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	18
受入企業等数	13	
受入企業等名	小川珈琲(株)、彌栄自動車(株)、都タクシー(株)、(株)最上インクス、(株)リパティ、京都市住宅供給公社、他7社 http://www.kyoto-su.ac.jp/features/career/jissen_rep.html	
インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ.5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ.7.中小企業でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事.2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	就業体験は、金属加工企業では「薄板部品や立体作品のデザイン・製作」、ホテルでは「フロント・接客業務」、住宅供給公社では「入居者歓迎イベントの運営サポート」等のジョブシャドウイングと、社員に対する「自社の働く場としての魅力」のインタビューを通して、担当企業の一員としての視点と態度で積極的に参加している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している.2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している.5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している.6.当該インターンシップは、選択科目として実施している.7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次・2年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本科目は、全学部1・2年次生を対象に、共通教育科目(キャリア形成支援教育科目)の選択科目又は選択必修科目(外国語・文化・コンピュータ理工学部)として開講し、2単位を付与している。授業は、「事前学習(9コマ)」、「就業体験(4日以上)」、「事後学習(5コマ)」実施しており、「秋学期開講」科目として開講している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている.2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている.3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている.3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している.3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	実習中に教員が、学生と企業担当者とのメール内容を確認し、必要に応じて学生への助言や企業訪問を実施し、状況確認やサポートを行う。また、学生の日報及び担当企業の魅力発信レポート作成作業を通じて、目標達成に向けた指導を行う。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習は、「インターンシップ先企業に関する情報収集」「働きがい、キャリア形成に関する情報収集」「プレゼンテーション資料作成の準備」「インタビュー質問票、レポート、インターンシップ実習計画書の作成」の4つを柱にプログラムを構築している。また、授業の過程において「社会人基礎力」「社会性・マナー」を身に付ける等、合計9コマの事前学習を行っている。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事後学習は、「講義で得られた知識から「働く場としての魅力」「担当企業独自の魅力」「働く意味、意義」に関する考察と意見共有」「今後のキャリア形成(大学生生活、進路選択等)に向けての学びの活用」「魅力発信レポート』の作成・発表にかかる協働作業」「実習日報の作成」の4つを柱にプログラムを構築している。また、受入企業の方に来学いただき「成果報告会」を実施する等、合計5コマの事後学習を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	実習中に担当教員が学生と企業の実習担当者とのやりとりをメールをとおして確認し、必要に応じて学生への助言や質問に対する回答を行うことで、実習の状況をヒアリング及びサポートしている。また、学生が作成する日報を用いて、就業体験の目標達成に向け指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生には「事後学習」プログラム終了後にアンケート調査を実施している。本アンケートは、プログラムの振り返りや今後の改善に役立てることを目的とし、調査概要は「社会人基礎力12項目の自己評価」「実習で得たこと」「受講前後の成長実感」等、満足度調査と理解度調査に加え、プログラムの意図が理解されているかを分析・検証する内容となっている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間13日間以上
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施期間13日間以上の期間で学生を実習に送り出している。また、希望者がいた場合は、複数企業へインタビュー訪問できる方式を採用している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業開拓時に、企業・大学それぞれのニーズを擦り合わせ、企業任せではなく協働で実習内容の概要を作成し共有している。受講生は実習前に、実習先企業に実習内容の希望と日時等を連絡し、企業と学生が調整し合う方式を採用している。また、実習後に「企業との意見交換会」を実施すると同時に「アンケート」を提出いただき、その内容をもとに次年度に向けた改善等についての振り返りを行う。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus/html/2016/227.html
問い合わせ先	大学等名	京都産業大学
	担当部署名	キャリア教育研究センター
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-705-1754
	メールアドレス	cwie-center@star.kyoto-su.ac.jp